

子どもたちに身近な自然を残したい

いのちのつながり、命のはかなさ、いのちの大切さを伝えたい・・・多くの親たちの願いです。地下鉄の駅から歩いて15分、コナラやサクラの高木が茂り、上空をオオタカやノスリが舞う森があります。



相生山のヒメボタル

わが国最大級の生息地。

なかでも、もっとも多く見られる森の中心の谷を道路は通ります。

「ヒメボタルの生態はまだまだよく分かっていない」というのが専門家の話。

車が走るようになって、急に減り絶滅してしまっただけでは遅いと思うのです。

名古屋市は、この秋にも「道路建設の是非を判断するための住民意向の調査」を行うとしてきました。

私たちは、『事業計画を変更し、道路用地を公園用地に組み入れ、緑地公園として整備する』代替案を提案します。

未来を生きる子どもたちにとっても、もっとも生態系豊かなこの区域を、道路にするよりも、観察・学習・体験・憩いの公園にする方が、はるかに有益に利用できるからです。

みなさんのご支持をお願いします。

2014年9月

相生山の四季を歩く会
相生山を愛する緑区民の会
弥富相生山線を公園緑地に替える会
ラブリーアースJapan



連絡先：ラブリーアース事務局（古川）

tell/fax：052-821-6463

e-mail：viva_forest@yahoo.co.jp

http：//lovelyearth.info/

みなさんに提案します



相生山の

道路を

緑地公園に



フィールドワーク画像
・相生山でESD
・シンポジウム相生山
・相生山の四季を歩く会

河村市長は7月28日と8月25日の記者会見で

「野並交差点の渋滞はほとんどない」「通り抜け交通をなくす方法は、(他に)いろいろ考えられる」
など道路建設に否定的な発言。

57年前の都市計画に だれもが縛られてきたのです。

計画を撤回し、道路を公園に！
市民みんなですすめましょう。

相生山緑地の航空写真(名古屋市資料)
真ん中を横切っているのが道路用地



相生山緑地と道路用地

緑地は2つの用地に区分されています。

公園用地部分は 123.7 ha

住宅や畑などの民有地を含みます。

分断して道路用地は 延長 892m・1.18 ha

ヒメボタルをはじめ たくさんの
貴重な命をはぐくむ 森の真ん中です。

道路が開通
してしまうと・・・

緑地の東と西、久方や相生山交差点、菅田橋から昭和高校前などで、あらたに交通集中による事故や渋滞、住宅地への入り込みの怖れがあります。

これも大問題です。

ここまで造ったのだから・・・予算もたくさん使ったし・・・という人もいます。でも、考えてみてください。これからお金を使って、森をこわし、いろいろなものを造るなんて、後世の人々に迷惑です。「誤って改めざる、これを過ちという」・・・造っていたけど途中で、考え直してやめた！！
引き返す勇氣は、誇りとなるでしょう。

つくりかけの「道路」

道路にするつもりでつくってしまった部分があります。こわすにも お金がかかります。

なるべくお金をかけず、手をかけず、緑地公園の一部としてどう利用すればいいか？

みんなで知恵を出し合ひましょう。

「道路用地」として市が買った土地を「市民の公園」にするなら税金のムダにはなりません。



地球規模の異常気象、天変地異が起っています。森林破壊などの開発を抑え、環境を守るための取り組みは全世界の大きな流れです。相生山から世界の良心に合流しましょう。